



JAあそだより



掛け干し(南小国町赤馬場地区)



■主な内容

- 各生産部会の動き・共進会
- 青壮年部研修会・「盟友の主張」
- 家庭菜園コンクール
- 第3回まるごとあそっ子スクール

▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



管理栽培等の説明を聞く参加者

阿蘇町管内43集落で7月11日から27日まで、現在の米政策改革、品目横断的経営安定対策制度の再確認、経理一元化へ向けての取り組み、農地・水環境保全対策の概要説明など2回目となる座談会が開かれました。

今回は今まで確定した支援策の内容、要項についての情報を伝達し、各集落での法人化に向けてのビジョン作成へ活かすことが狙いです。特に同地区の転作の中心的作物として位置付けられている大豆は、ゲタ対策（生産条件不利補正対策）の実績参入の対象最終年となることから、肥培管理の徹底を呼びかけました。また、前回の座談会で農家

が不安に感じている経理の一元化については、具体策を用いて法人化までの任意組合として、経理の方法について理解を求めました。

更なる栽培技術の向上を

南部イチゴ部会総会

J A阿蘇南部イチゴ部会は7月21日、部会員や行政・J Aの役員60名が出席し、南阿蘇村役場で総会を開きました。総会では2005年度事業報告、収支決算など4議案を全員一致で可決、承認しました。

今年度は更なる栽培技術の向上を図るため、産地研修・管理講習会を重ね、安定出荷を目指して生産管理を行い、消費者に安心・安全なイチゴを届け、所得の向上に取り組むことなどを決めました。また、一部役員交代があり書記に村上豊彦さんが選ばれました。

高品質な里芋ができた!!

西原里芋部会総会

西原里芋部会の2005年度総会が8月21日、西原村構造改善センターで開かれました。

圃場で試験散布など行う

阿蘇町大豆組合の講習会

阿蘇町大豆生産組合は7月28日、阿蘇市成川地区団地内の大豆圃場において、講習会及び防除剤の試験散布を行いました。



肥培管理等の説明を行うJA職員

先ず藤森里芋部会長が「05年度は単価が厳しかったが肥培管理の結果、高品質な里芋ができた」とあいさつ。総会では、提案された05年度事業報告、収支決算報告、06年度事業計画、収支予算案など全ての議案が承認されました。また、同会場では販売高表彰者の坂本兼一さんと、平均単価表彰者の東義秋さんが表彰を受けました。

栽培農家、大豆生産部会、J A職員らが肥培管理害虫防除の講習を熱心に聞き入り、大豆圃場においての要点を確認しました。団地内圃場においては除草剤の試験散布をブームスプレーヤーで行い、今後の経過観察を行う予定です。

今年例年にならない長雨が続き、生育または培土作業の遅れが出ていますが、本年は品目横断的経営安定対策の一つ「生産条件不利補正対策」（ゲタ対策）の実績参入の年に当たり、農協・農家ともに連携を図り、一丸となつての収量・品質の向上を目指すことになっています。

農薬の空缶6000口を回収

J A阿蘇南部管農センターでは8月10日、農薬の空缶回収を各野菜出荷場で行いました。農薬缶は施設園芸の普及から連作障害対策として用途が多く、その回収の要望が多くの農家から寄せられたため専門の業者に依頼したもので、今回は6000口が回収されました。今後定期的な回収を行う予定です。



名誉賞に穴井秀憲さんら

小国郷畜産共進会



小国郷畜産共進会が9月9日、小国家畜市場で開かれました。肉牛種牛4部門、肉牛2部門の計6部門に68頭が出品され、審査が行われました。

各部門の名誉賞受賞者は次の通りです。

【肉牛種牛の部】▽子牛Ⅱ武田末勝（かねみつ）、原山寅雄（まいひめこ）▽育成牛Ⅱ穴井秀憲（つかさ）、宮崎徳雄（ひびき）▽経産牛Ⅱ岩本新一（まるなみ）

【肉牛の部】▽素（もと）牛Ⅱ佐藤友美（福栄）▽肥育Ⅱ中島一喜（幸平）、橋本泰蔵（まささ）、高村祝次（神之子）

▽団体賞Ⅱ大字満願寺地区

3部門でチャンピオン競う！

南阿蘇畜産共進会・肉用牛振興大会

南阿蘇畜産共進会は9月9日、南阿蘇家畜市場で第58回南阿蘇畜産共進会及び肉用牛振興大会を開き、生産者ら約80人が参加しました。大会では未經産牛の部で褐毛が若齢・壮齢・黒毛の3部門で審査が行われました。

大会終了後は「地域性を生かした肉用牛生産」という題で南阿蘇畜産農協の梅田政之参事より講演が行われました。

各部門のグランドチャンピオンは次の通り。

▽褐毛若齢の部Ⅱ阪田健男（ふじたま）▽壮齢の部Ⅱ浅尾正純（おりひめ4）▽黒毛の部Ⅱ小林大二郎（第3しらゆき）

尾ヶ石地区農業祭で畜産品評会行われる



台風10号の影響で1日延びた8月19日、尾ヶ石地区農業祭が開催され、和牛部会主催の畜産品評会が行われました。この催しは毎年開催されており今年で10回目。本来はグランドゴルフや女性部による炊き出しも予定されていましたが、雨のため畜産品評会のみ行事となりました。



ふじたま



おりひめ4



第3しらゆき



りました。品評会には60頭出品され審査が行われました。各部門の主席は次の通りです。

▽あか子牛Ⅱ中川利美（第5にしき）▽黒牛Ⅱ永富久雄（いとひめ2）▽あか育成1部Ⅱ坂口静義（第五ひめ）▽黒育成1部Ⅱ下村善計（第二あやか）▽あか育成2部Ⅱ山本喜一（第一あやひかり）▽黒育成2部Ⅱ永富久雄（きよ）▽あか成牛Ⅱ坂口静義（みつあやめ）▽黒成牛Ⅱ五嶋一俊（まさみ）

尚、中止されていたグランドゴルフ大会は9月5日に開催されましたが、またあいにくの小雨となりましたが和気あいあいにプレーされました。

JA阿蘇青壮年部研修会
「盟友の主張」最優秀賞に

後藤倫弘さん（一の宮支部）

JA阿蘇青壮年部は8月1日、盟友や来賓など10人が出席して一の宮中央支所で青壮年部研修会を開きました。

この研修会は激しい農業情勢の中で、地域農業のリーダーである盟友自らが将来を見通した自立農業経営を確立し、明るく豊かな地域社会を目指すことを目標に、毎年開いており今回で31回目となります。

研修会では「盟友の主張」に5支部、「組織活動実践」に7支部より推薦を受けた盟友の発表があり、「手作り看板コンクール」には7作品が展示されました。審査の結果、盟友の主張



盟友の主張で最優秀賞に輝いた後藤さん



組織活動実践発表を行う本田寛雄さん

では「チャレンジザ！新規就農」というテーマで発表した一の宮支部の後藤倫弘さんが最優秀賞に輝き、11月の県大会に出場することになりました。その他の結果は以下の通りです。

▽組織活動実践発表 ■本田寛雄（高森・蘇陽支部）▽手作り看板コンクール ■小国郷支部、一の宮支部



看板コンクールに出品された作品

盟友の主張 最優秀賞作文

「チャレンジザ！新規就農」

JA阿蘇青壮年部一の宮支部 後藤 倫弘

私は以前サラリーマンを7年間ほどやっていました。しかし、色々な状況のあおりを受け会社を辞めなければならないようになり、4年前から新規就農として畜産を始めました。この農業、畜産を始めたくっかけというのが社会全体が不景気のきなか、私の勤めていた会社も不況のあおりを受け退社を余儀なくされた時、獣医師でもある父が畜産を専門としていること、私自身が大学時代に農学部在籍していたこと、また母親自身の体力が続く限り、この畜産業に協力してくれることなどの理由により「よし！畜産業をやってみよう」と決意したのです。しかし、実際、我家はもともと農家ではなく、大学で学んだ知識だけで実践や経験がなく、本当に農業をやっていくことに不安や戸惑いがありました。そして、就農したほんの数年前までBSE問題が起きたばかりで、畜産業界は低迷し混乱が続いていました。

しかし、あえてこの業界にチャレンジすることによって、この逆行を1つのチャンスにしようと思ったのです。

最初は牛2頭から始めました。伯母の牛舎を借りて1年間でやっと7頭まで増頭しました。しかし、実際に自分で考えていることと、体を動かして仕事をすることは想像していた以上はかなり違いがありました。体力は使うし、牛をあやそうと、また抑えつこうと叱れば叱るほど牛は抵抗しました。また、牛にロープをつけて引っ張るところか、引っ張りまわされることもしょっちゅうでした。時には、足の指を踏まれ両小指を骨折したこともありました。畜産業も本当に大変な仕事だと実感しました。今でも牛を100%うまくあやつることはできません

んが、ここ4年間やってきてだいぶ慣れてきました。

普段の飼育管理は父の指導や、青壮年の盟友の先輩たちや同じ部会の人たちのアドバイスを仰ぎながらやっています。牛飼いははじめた当初は牛が糞を食うことも知らず、発情で牛が立ちかかることも知らなかったのです。そのため父の指導は、当初から非常に厳しいものがありました。一層のこと「牛飼いは、もうやめてやろうかなあ!」と思ったことがありました。でも自分が丹精こめて、かわいがってきた仔牛を市場に出す時、仔牛との別れの寂しさはありますが、高値がついた時には何物にも変えられない喜びがあり、また、母牛の分娩時に無事出産し、仔牛が元気に乳を吸う姿を見ると、一生懸命この仕事に力を注いだ努力が報われる気がします。また、そのやりがいを求めてこの仕事を生涯続けていきます。

2年前から、知人の紹介で牛舎を現在の原野に場所を移し、褐牛14頭、黒牛6頭、仔牛8頭、合計の28頭を飼育しています。そこでは1.5haの運動場、4haの放牧場、3haの牧草地を借りて、そこにはイタリアンを植えています。これから将来、繁殖牛50頭を目標としています。そのために約10haの放牧地を借り入れ、約7haの牧草地を借り入れたいと思います。そのため国、または県からの就農助成金を借り入れ、現在持っていない機械の購入や、畜舎の設備投資などを積極的に行っていきたいと思っています。ここ原野である波野では現在夏は放牧、冬は舎飼いという方式から増頭するにつれ周年放牧に変えていきたいと思っています。波野ではまだたくさんの放牧地、採草地があり広大な草原を利用して、低コストで出来るだけ高い収益をあげていくような経営をしていきたいと思っています。波野は阿蘇谷とは違い、飼料作物の播種などの時期や生育状況の違いや戸惑いがありました。そして、自宅から牛舎まで車で20分程かかりますので、牛舎横にプレハブを設置して母牛の分娩前1週間からの管理や離乳直後の牛たちの管理、また不測の事態に対しての際に利用して、寝泊りにも使っています。それによりできるだけ牛舎のそばにいるよう心掛けています。時には冬場はマイナス10度を下回るときもしばしばで、積雪も20~30cmもあり水道管も凍結し車も通れない状況の時もあり、真冬の夜温の低下は厳しいものがあります。冬場の分娩時の仔牛の管理は、特に慎重に観察すべきであり最悪の場合、凍死してしまうことすらあります。そのために、体温低下の予防やその後の敷料による腹部の体温の低下は、下痢や血便にもつながりかねないので注意が必要だと考えます。仔牛で一番怖いものは下痢と脱水です。ですから夏場でも、特に冬場でも湿気の多い地面は避けるべきです。ですから、乾燥した敷料十分な母牛の生乳、良質な粗飼料はとても重要です。まだまだ未熟な私ではありますが、このことは断言できると思います。そのため今まで一度の事故もなく、1年1産の目標も達成し、市場でも高い評価を得ています。

私はまだ十分な農機具がいまだに揃っていない中、地元の方々の温かい支援により親切に農機具を貸してくれたり、機械のトラブルが起きればすぐに駆けつけてくれて、修理をしてもらったり、壊れた部品を交換してもらったりして仕事上の問題点や相談事などにも真剣になって話をきいてもらったりしています。また、そうやって世話になっていると今度は、困った人などの話を聞くと、できるだけ協力しなければならぬと実感します。まだまだ機械の不具合をよく修理できない私にとって、急いで修理に駆けつけトラブルを解消してもらった時は、涙がでるほどうれしかったことを憶えています。このような冬場は少し寒いものの、夏場は涼しく牛がのびのびとしてリラックスできる恵まれた環境の中で飼育した牛は、消費者にとっても良質の和牛が提供できるのではないかと思います。今、言われている人・自然・環境に優しく、そして、家畜を虐待しない安心・安全な牛肉を消費者に提供できるような経営をやっていきたく思います。私自身の人格もまだまだ未熟ですが、周りの盟友、そして先輩方と協力し周囲の人たちからも信頼され、たくさんの人とコミュニケーションをとりながら、人間性豊かな生活と農業をやっていきたく思います。

私のチャレンジはまだ始まったばかりです。数年前のBSEの問題、再開される米国の輸入牛肉問題など、問題が山積しています。また、未知の疾病が将来起こりうるかも知れません。人間社会が2度と起こしてはならないように極力努力すべきです。自分の夢は繁殖牛を増やすことですが、大量に和牛を生産しようとするだけでなく、良質・安全な牛肉を提供すべきだと考えます。

人間と動物が共存する中、自分の飼育する家畜を愛し、良きパートナーとして大事に育てていき、社会に貢献することを目標に置き、「チャレンジ ザ!新規就農」という難しい自分の夢、また、この夢をやりぬくよう努力します。これからの日本の農業の未来の光を消さぬよう、1人の農業者として一生懸命力を注ぎます。「チャレンジ!!」自分の「夢」をつかみ取るために!!そして、愛する家族を守るために!!



最優秀賞に栃原純子さん



J A阿蘇女性部主催による「家庭菜園コンクール」の現地審査が9月5日に行われ、最優秀賞に久木野支部の栃原純子さんが選ばれました。同コンクールは自給率の向上と農家経営の安定、地域づくりに役立てることを目的とし、生活改善に興味と意欲を持って家庭菜園づくりに励んでいる女性部員が対象で、各支部の予選会で選出された5人を対象に行われました。今回で6回目を迎えます。

審査は①場所の選定②種類③経済④生育状況など10項目が対象となり、1人100点満点を基準に7人の審査員で行われました。栃原さんの菜園はオクラ、小松菜、ニラ等24種類の野菜



家庭菜園コンクールの審査風景

が栽培され、種から育て、堆肥も自分で作り、時期をずらすことでいつでも旬の野菜が採れる工夫をしていました。

栃原さんは「採れた野菜は一つも無駄にせず、加工したり使う用途でカットして冷蔵・冷凍して1年中食べられるようにしています」と話していました。

審査の結果は次の通りです。
▽優秀賞Ⅱ甲斐いわの（蘇陽支部） 家入明子（二の宮支部） 本田ヒサミ（阿蘇町支部） 宮崎文子（小国郷支部）



外食産業と意見交換

J A阿蘇南部営農センター

J A阿蘇は8月4日、外食産業の農産物仕入担当者及び商品開発担当者ら40人を全国から招き意見交換会を行い、併せて野菜出荷施設やほ場の見学会を南阿蘇村で開きました。この事業は食生活の変化に伴い、外食産業のウエートが高くなったことで、要望される流通形態の変化に的確に対応するために開いたものです。

一行は、南部営農センターで産地化を目指すナス（ヒゴムラサキ）やトマトの撰果、甘藷の生育状態を観察し、今後求められる農産物づくりや販売方法について担当者や生産者と意見交換会を行いました。



女性部が阿蘇の野菜で作った郷土料理の数々



れた新鮮な農産物を使った郷土料理を準備し、参加者全員に振る舞い阿蘇の野菜をPRしていただきました。

「消費税総額表示」研修会

J A阿蘇は8月30日、一の宮中央支所会議室で全購買部門職員を対象に「消費税総額表示」対応による購買システム変更内容の研修会を開きました。今回の研修は2004年4月にスタートし、07年3月までの特例措置が設けられている総額表示に対し、購買システム変更がスムーズに移行できるようにと事前教育・研修を目的に開催されたものです。研修会には各事業所の電算事務担当者31名が参加しました。



購買システム変更内容を説明する担当者

色鮮やかな花々が会場を彩る

阿蘇高原花まつり



8月5・6日の2日間、南阿蘇村のあそ望の郷くさのきで「阿蘇高原花まつり」が開かれました。夏季の冷涼な気候を生かした花卉栽培が盛んな阿蘇では、トルコギキョウやバラ、リンドウなど質の高い花々が栽培され、九州管内を中心に出荷されています。会場では花卉品評会、阿蘇の花オブジェ、菜場者を対象としたフラワーアレンジ教室、さらに生産者の協力により安く設定された花束の即売会など、沢山の催しが行われました。

参加者の一人は「阿蘇にこんなにいろいろな花があるとは」と驚いており、後藤長谷男南部花卉総合部会長は「消費者になかなかPRする機会がなかったが、これを機に今後も続けていきたい」と話していました。

トルコギキョウ

栽培技術向上を目指し 随時、品種検討会を行う

J A阿蘇南部花卉総合部会の主要品目であるトルコギキョウの開花が始まり、品質検討会も随時行われています。

トルコギキョウは夏場でも80品種が作付され、花は八重や一重また花弁の先だけ色があるものなど沢山の品種があり、消費者ニーズにも細かく対応がなされています。また、ネット販売の割合が多い産地だからこそ品質・アイテムの多さを強みとして、消費者に最も近い産地とすることができました。

しかし、まだ新品种の栽培技術には分からないこともあるため、部会では5年前から各メーカーに依頼して販売前の開発段階から試作を続けています。メ



試作のトルコギキョウの開花状態を見る生産者

阿蘇の野菜を

八代地域の物産館で産直販売 今後の販売促進にも期待！

J A阿蘇南部管農センターは、八代地域の各物産館に「阿蘇コーナー」を設けて、阿蘇で採れた新鮮な野菜を中心に夏場限定の産直販売を行い、好評を得ました。

夏場、県内の物産館は地元野菜の入荷が困難で、消費者のニーズに的確に応えることができませんでした。これまでも阿蘇の野菜を他の地域でも産直販売していましたが、個人間の契約で品揃えが弱く、さらに輸送面などにも障害があり、なかなかうまくいっていませんでした。しかし、J Aが窓口となること

メーカーには試作で得たデータを提供することで、種子の販売時には栽培技術も分かり、そのために生産者が栽培する段階での失敗が少なくなっています。

最近では各メーカーから栽培試験の依頼が多く、今年も7社から30品種の試作栽培を受け、開花時期を迎えて花の試作診断が盛んに行われています。

長雨だった今年は栽培条件が

で品数が増え、併せて阿蘇の農産加工品も販売されました。

このような試みは、季節によっては品揃えができない野菜を地域間を越えて供給しあうことで年間を通して販売も安定。取扱量も年々増加しています。

南部管農センターの川元博美園芸課長は「各地域の物産館に「阿蘇コーナー」を設けて頂くことで、阿蘇の宣伝にもなり、各地で阿蘇の新鮮な野菜を味わって頂くことで販売促進にも有利と期待しています」と話していました。

難しく、その中でも「高品質な花」「夜、蛍光灯の光で見た時の花」などと審査項目は多くなっています。

トルコギキョウ専門部会の金林繁夫会長は「品種が多いことは栽培する方には大変だが、それらの品種すべてが消費者が求めている花であること意識し取り組んでいます」と語っていました。



物産館の「阿蘇コーナー」での採れたて野菜の販売

かかし

あい・案山子作り・バーベキュー

楽し、盛りだくさん!

「まるごとあそびスクール」



子どもたちに食と農の大切さを学んでもらおうと開校した「まるごとあそびスクール」。3回目となる今回の授業は8月25日行われ、南部宮農センター管内の小学校から3年～6年生までの34人が参加しました。

今回は、高森町の南阿蘇畜産協同組合で子牛のセリを見学。エサやりを体験しました。牛に触れるのは初めてという子どももいましたが、中には積極的に手を伸ばし毛の感触を確かめたりして、牛の様子を観察していました。その後、JA阿蘇の花卉出荷所で案山子(かかし)作りに挑戦。そしてバーベキューが行われました。



JA阿蘇のお兄さん、お姉さん
手伝ってもらって
案山子作り



子牛セリ見学・あか牛とのふれ

今回も楽しい体

第3回JA阿蘇「まるこ



畜産(協)の方からいろいろなお話聞きました



阿蘇のあか牛肉は
安全・安心うまか〜あ!



バーベキューでは南阿蘇畜産(協)塚元秀典組合長が「地元で肥育されたあか牛のおいしさを味わいながら、たくさん食べて下さい」とあいさつ。畜産(協)から提供されたあか牛の肉と女性部の皆さん手作りおにぎりでバーベキューが始まると、子どもたちは待ちに待ったあか牛肉を夢中ではおぼっていました。

今回の「あそっ子スクール」では、子どもたちはあか牛の肥育過程やあか牛肉を食べ、食の安全性について学びましたが、次回は子どもたちが春に植えた稲刈りとイモ堀りの体験を行う予定です。



満足!
まんぞく!!
おいしかったよ



いっぱい食べてJAの
お兄さん、お姉さんの
ように強くなるんだ!



もく
もく
もく...



今年もがんばります

「阿蘇のお米」

小国郷管農センター発信

雄大な自然に囲まれた阿蘇の大地。この阿蘇で営まれる農業の中心となるのは、何と云っても「お米」です。平成18年産米につきましては、長雨・日照不足、更には台風13号の襲来と厳しい環境下での栽培となつていますが、「おいしい阿蘇米」の出荷のため皆様方にご尽力を頂いています。阿蘇管内では水稲作付面積6000haの内、コシヒカリ4000ha、あきげしき1000ha、いただき200ha、ヒノヒカリ200ha、その他600haが作付けされており、本年は約32万俵の出荷を見込んでおります。主な出荷先は熊本・福岡・九州管内をはじめ遠くは大阪・沖縄まで販売されています。

当、小国郷管農センターでの主力品種「あきげしき」は、平成8年に導入され、現在、管内全体の約9割の作付をしており、福岡方面を中心に、熊本・長崎へ出荷されています。「手頃な価格でおいしいお米」が売りで、外食関係でも多く使われており

ます。中でも福岡市博多区にあるお店では小国郷の「あきげしき」のみを使用し、連日、大勢のお客様で賑わっているとのこと。お店の方の話では「食材は徹底的に選び抜かれたものを使用しており、もちろんメイトンであるお米は、おいしく安全性に優れたものを選びました。今後も阿蘇のお米に期待します」とのことでした。

我々JAとしても、消費者サイドのお話を今後も大切にしたいと考えています。

「初搾り時の品質を確認」

JA阿蘇初搾り部会は8月31日、一の宮ライスセンターで初搾り時の初混入、水分調整、網目の統一などを徹底し、良品



初搾り後、品質を確認する部会員

400名がハツラツプレー

ゲートボール・グラントゴルフ大会



年金友の会によるゲートボールとグラントゴルフ大会が8月26日、農村公園「あびか」で開かれました。この大会は、会員相互の健康増進を図り親善と融和を深めることを目的に、今回で6回目を迎えました。

主催者を代表して井上恵会長（高森支部）があいさつ、丸山信義組合長が祝辞を述べ、長野ミハルさん（長陽支部）の選手宣誓後、それぞれのコートに分かれ元気ハツラツプレーが展開されました。

当日の成績は次の通りです。

ゲートボールの部

- 優勝 一の宮支部宮地チーム
 - 準優勝 蘇陽支部蘇陽Bチーム
 - 3位 阿蘇町支部東部Aチーム
- #### グラントゴルフの部
- 優勝 田辺 屯（西原支部）
 - 準優勝 鶴本康雄（阿蘇町支部）
 - 3位 阿部 昭（産山支部）

米の初検査「全量一等」

2006年度産米の初検査が9月4日から、阿蘇市内牧の小里16号倉庫で始まりまし。初日、関係者約50人が集まり、阿蘇神社の宮司による祈願祭が行われた後、農産物検査員の資格をもつJA職員が、内牧地区4戸から出された「阿蘇コシヒカリ」327袋（1袋30kg）の検査を行いました。その結果、全量一等となりました。検査は11月まで行われる予定です。



品質を検査する検査員

平成18年度

「JA阿蘇総合展示会開催」

- 期 日 : 平成18年11月11日(土)～12日(日)
1日目 午前10時より午後8時まで
- 時 間 : 2日目 午前10時より午後7時まで
- 会 場 : 阿蘇市立体育館および体育館前駐車場



ドラコン阿蘇大会出場の皆さん

JA阿蘇ドラコン

西村友一さん最優秀賞

JA阿蘇購買部は西原SSで8月2日、ドライブウェイサービステストを行いました。同大会は接客・点検・技術サービスの向上を図るとともに、経営の強化に資することを目的に管内各SSから選抜された16人が出場しました。

後藤安弘担当常務が「原油高騰で消費者の需要も沈んでいるが、商系に負けないサービスを提供し、利用者増を図って頂きたい」とあいさつ。審査は接客態度などの基本的なことから、洗車や不具合箇所の説明・推進といった応用的なことまで詳細にわたり厳しくチェックしました。上位入賞者2人は9月9日開催の県大会に参加しました。

入賞者は次の通り。

▽最優秀賞Ⅱ西村友一(西原SS)▽優秀賞Ⅱ北崎智泰(久木野SS)▽優良賞Ⅱ笠野紘希(柏SS)▽審査委員長特別賞Ⅱ坂本晃(黒川SS)▽レディース賞Ⅱ堀智津子(馬見原SS)

ドラコン熊本県大会

西村・北崎両選手に個別部門賞

9月10日、JA・SSドライブウェイサービステスト県大会がJA熊本うき砥用SSで開催され、県内JAの代表22名が参加しました。JA阿蘇からは地区予選を勝ち抜いた西原SSの西村友一選手と久木野SSの北崎智泰選手が出場。

8番目に出場した北崎選手は今年JA阿蘇に就職したばかりでSS経験はわずか5か月。商品説明の時は、はつきりとした口調でお客様とはユーモアのある会話をするなど、余裕のある演技でとても新入職員とは見えないすばらしい競技(演技)を披露しました。(実は足がガタガタ震えていたそうです)。

10番目出場の西村選手は、今年4月に生れた待望の長男に「優勝宣言」をして競技に臨み、大きな声でタイヤを点検。待ち



応援の皆さんと西村・北崎両選手



西村・北崎の両選手

時間を飽かせない接客態度やオイル交換では丁寧な説明をして完璧な演技(演技)を行いました。審査の結果、残念ながら上位入賞はできませんでしたが、各項目で最高得点の選手に贈られる個別部門賞の技術サービスマ賞に西村選手が、総合印象賞に北崎選手が輝きました。

担当(購買部)の松岡職員は「2人とも最高の演技でした。予選を含め2か月と長い期間の練習、大変お疲れさまでした」と労を称えていました。

より質の高い サービスめざし JA-SSで自主点検



担当者の点検に答えるSS所長

JA阿蘇管内21SS(給油所)のうち11SSで8月25日、統一した作業ルールや法令に関する知識・認識をスタッフから管理職にいたるまで周知徹底・共有化して今後の業務に活かすために、法令遵守自主点検を実施しました。この自主点検では作業方法や知識を得るだけでなく、法令遵守・制度責任・環境問題・社会貢献など、より質の高い内容を学び、危機管理の維持・継続など、JAとしての社会的責任を全うするために残りのSSでも実施予定です。



開会式

入場行進

9月2日、第31回JA熊本県親善野球大会が県総合運動公園で開催され、JA阿蘇の代表として阿蘇町中央支所チームが出場しました。同チームで県大会に出場するのは15年ぶり。今年は選手の平均年齢もぐんと若返りしてヤル気満々で怖い物知らずのメンバー。対戦相手は強豪JAたまなチームで数多くの試合経験を持ち全国優勝経験もあるチームです。序盤で3点のリードを許したものの、大倉選手のヒットを足がかりに笹原選手のタイムリーで1点を入れ、



応援の皆さん

ナイスバッティング…?

追い上げムード。ピッチャーの石田選手の調子はいい方ではなかったが、回を重ねることに内容がよくなりランナーは出すものの要所で抑えました。打つ方も連打でランナーを溜めるも、あと一本が出ず最終回に2点入れられ5対1で敗退しました。暑い中の対戦、選手の皆さんお疲れさまでした。(監督いわく「何をするのもヤル気」の言葉通り、打ち上げも大変盛り上がったそうで、そちらの方が疲れたのでは?)

8月19日、南阿蘇村白水体育館で県役員大会の予選を兼ねたJA阿蘇「第3回親善ソフトバレーボール大会」が開催されました。大会には昨年より2チーム多い14チームが参加。日頃の鬱憤(うづぶん)?をはらすかのように熱い戦いが繰り広げられました。今大会より優勝チームには優勝杯が授与されました。閉会式で原山常務は「



2位「プリティウーマン」



優勝「場外ホームラン」



4位「ラブアンドベリー」



3位「小国郷花組」

10月7日開催される県大会では上位入賞を目指してさらに頑張ってください」と激励しました。県大会は次の4チームが出場しました。▽優勝 場外ホームラン(南部地区混合)▽2位 プリティウーマン(阿蘇町中央支所)▽3位 小国郷花組(小国郷中央支所)▽4位 ラブアンドベリー(阿蘇町中央支所)



8月26・27の両日、白水中央支所で呉服展示会が開かれ、会場には着物のほか和装飾品や健康相談コーナーなど設けられ、多くの来場者でにぎわいました。

26日の開会式には関係者30人が出席。藤田和美購買部長は「本年度は11月に総合展示会を予定し、今展示会も組織活動の一環と位置づけている。そのためににも成功するよう是非ご協力を」と決意を述べました。

琉球大学農学部で農業経営を学んでいる工藤菜保子さん（旧久木野村出身）が、「JAで研修を受けられれば農家と直に接することができ、農業経営の現状を学べ、さらに幅広い体験ができる」と、8月21日から9月2日まで南部営農センターで職場研修を行いました。

研修中は指導員と共に農家のほ場に向き、収穫前の野菜や花を見学し栽培の過程を学び、野菜出荷所では荷受から出荷までを体験しました。また8月末に開かれた「野菜の日」販売促進のイベントにも参加。「消費者が求めている農産物とは…、消費拡大につながるためのイベントとは…」など、大学では学べないことを体験しました。

一方、経営担当者からは、今農家に推進しているパソコンによる農家経営の複式簿記記帳から見る経営診断の方法、農家が経営状態を数字として把握することが健全経営につながる、さらに経営が悪化した農家の支援について具体的な事例を交え研修を受けていました。

JA阿蘇きらり

好きな言葉は「eco」
趣味は自分で育てた野菜料理



阿蘇町中央支所購買課
大津 真理奈（おつ まりな）
昭和56年11月生まれ
（住所＝阿蘇市内牧）

グリーンショップやまびこで事務を担当している大津真理奈さん。何事も前向きで周りからの信頼も厚く、同僚からも可愛がられています。お客様の評判もよく上司（課長）からも褒めの言葉しか聞けません。ブルースハープ第1人者の妹尾隆一郎（せのおりゆういちろう）が大好きだとか。（ブルースハープとはハーモニカの小さい楽器だそうです。みなさん知っていますか？）

好きな言葉は「eco」（エコ）で、環境のことや資源を無駄にしないことをいつも考えているそうです（えらい！）。趣味は自分で育てた野菜で料理すること。

「最近、1歳になる娘が歩き始めたことに感動しました」と大津さん。子供さんの成長が楽しみですね。

今村弘文センター長は「農業に最も深く関わっているJAでの研修で、学んだことを大学の学習に大いに役立ててもらいたい。卒業後はぜひ農業経営を支援できる職場に勤めてもらいたいですね」と話していました。



彩希の家

自由設計・注文住宅

新商品
ご購入キャンペーン

9月1日 ▶ 12月30日

 家族で愉しむ
 安心・快適な住まい。

注文住宅

本格的な木造注文の家。

元からの家を中心に、家づくりをスタート。大きな窓から自然を眺めながら、さらに広々とした庭の中が広がるよう、家を思い通りに自然と調和しました。自然の風や光を取り入れ、快適さを大切にした家づくりをいたしました。



ご予算に応じたプランをご提案致します。



※価格は目安価格になります。

T シリーズ

健康を楽しむ、木の香りのする家。

「自然木のぬくもり」を大切に、天然の珪藻土をイメージ、内装は、日本古来の木質、無垢材の温もりや空気清浄作用、同時に調湿効果もプランニングをいたします。無垢材にこだわりの、エコロジーを追求した木の香りのする家です。



総工面積 28.5坪

U **1,730**万円（税込）

※本体価格です。

44.9万円（税込）

住む人のことを考えた
 安心・安全設計。
 ゆとり住宅、ひと回り広い
 メーターモジュール。
 JAハウスからの
 新しい生活風景の
 提案です。



総工面積 46.7坪

T **2,570**万円（税込）

※本体価格です。

55.0万円（税込）

U シリーズ

住む人に優しい高齢者対応の家。

- 1.25坪以上ある介護スペースのあるお家
- 介護スペースのあるトイレ
- 洗面、トイレ、浴室を別棟
- 車椅子が利用できる30cm入り口
- 内部への出入りにスロープを標準（※オプション）



総工面積 50.0坪

E **1,575**万円（税込）

※本体価格です。

31.5万円（税込）


E シリーズ

コストパフォーマンスを高められた高品質な家。

床は珪藻土に塗られる等、断熱に配慮した地味にやさしい住まいです。また、材料から製造を徹底的にコスト削減です。家の中の風通しを良くするために、窓を多く取り、シャッター付の窓を採り入れる家づくりをいたしました。


 キャンペーン期間中、彩希の家ご成約の方 **3000**円に「家具」「照明」「カーテン」「エアコン」のいずれかをプレゼント。

彩希の家の4つの提案

人に優しく健康に

地球に優しく大切に

JA HOUSE

家族に優しく快適に

風土に優しく安全に

 住まいの安心をJAグループ 電器のJA JAJAハウスへ

県下JAグループ

お問い合わせは

JA阿蘇購買部 tel:0967-22-6125

 打合せからアフターまで
 JAグループが責任を持って
 対応します。

理事会・監事会報告

■ 平成18年度第6回理事会

日時 平成18年8月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

7月末実績報告

- 1) 平成18年産集荷円滑化拠出金立替について
- 2) 平成18年産米概算金について
- 3) 平成18年産米検査員配置について
- 4) 貸出金について
- 5) 利益相反取引について
- 6) 公用印管理規程の一部変更について
- 7) リース契約について (西原給油所・高森給油所)

報告事項

平成18年度上半期決算権部予備監査実施について
郷の四季対応状況について

■ 平成18年度第7回理事会

日時 平成18年9月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

8月末実績報告

- 1) 住宅ローン「得々キャンペーン2006」の実施に伴うキャンペーン金利の取扱いについて
 - 2) 担い手対策支援資金の制定並びに21世紀農業フォローアップ資金の改正について
 - 3) 阿蘇市指定管理者制度について
 - 4) 役員賠償責任保険について
 - 5) 異常例検査検査調評について
- 報告事項 台風13号被害状況について
報告事項 JA阿蘇総合展示会開催について
報告事項 石油類供給開始時の留意事項について

● 平成18年度第4回監事会

日時 平成18年9月19日午前10時

場所 本所会議室

- 1) 平成18年度上半期決算予備監事監査の実施(案)について
- 2) 平成17年度決算監事監査回答書について
- 3) 平成18年度上半期決算事務監事監査の実施(案)について
- 4) 平成18年度米麦等粗卸監事監査報告書(案)について
- 5) 平成18年度上半期決算予備監事監査補助者研修会(案)について
- 6) その他

JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 任 命	発令年月日	旧 任 命
大塚 嗣久	小国郷中央支所長代理	平成18年8月1日	金融共済部審査・債権担当次長
興松 剛	高森中央支所長代理兼金融共済課長	平成18年8月1日	白水中央支所金融共済課長
後藤 一男	白水中央支所課長(グリーンなんごう店長)	平成18年8月1日	長瀬中央支所長代理
後藤 浩幸	白水中央支所金融共済課長	平成18年8月1日	JAグリーンなんごう店長
市原 恵一	白水中央支所金融共済課南部地区JA係 兼長瀬中央支所長代理	平成18年8月1日	白水中央支所金融共済課南部地区JA係
筑紫百合香	中部営農センタ 事業課福祉生活女性部係 (一の宮・波野・登山)兼庶務係(一の宮駐在)	平成18年8月1日	中部営農センタ 事業課福祉生活女性部係 (一の宮・波野・登山)兼庶務係
中島佑代子	営農課販売課販売係(事務処理係)	平成18年8月11日	事務電算室事務電算課営農事務処係
藤吉ひかり	営農課販売課販売係(事務処理係)	平成18年8月11日	事務電算室事務電算課営農事務処係
杉野 優子	営農課販売課販売係(事務処理係)	平成18年8月11日	事務電算室事務電算課営農事務処係
中島 幸代	営農課販売課販売係(事務処理係)	平成18年8月11日	事務電算室事務電算課営農事務処係
下城 由香	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成18年8月11日	営農部営農企画課営農係
本田 聡	阿蘇町農機センター車庫係	平成18年9月1日	新採用
山部 聡輔	中部営農センタ 兼庶務係(一の宮駐在)	平成18年9月1日	一の宮中央支所課員課員係(一の宮グリーン)
後藤 美幸	事務電算室次長	平成18年9月15日	課員部次長
伊藤 健河	購買部次長	平成18年9月15日	阿蘇町中央支所購買課長
森 美三	阿蘇町中央支所購買課長(グリーンショップやまびこ店長)	平成18年9月15日	小国郷中央支所購買課長代理
北里 卓也	小国郷中央支所購買課購買係	平成18年9月15日	事務電算室事務電算課購買事務処係

よろしくお願ひします。平成18年度中途採用職員紹介



伊沢 孝洋

JA職員として、社会人として助げ
かしくないように一つ一つの行動に
責任を持ち、今以上の自分を作り上
げて行き、自分の仕事に誇りを持て
るように頑張っていきたいです。



中島 潤也

1日1日の仕事を一生懸命頑張り、
JAの一職員としてやっていくつも
りです。よろしくお願ひします。



藤川 平政

JA職員として一生懸命仕事を頑
張りしたいと思います。新人ですがよろ
しくお願ひします。



本田 聡

早く組織に慣れて、みなさんの役に
立てるように頑張りたいと思いま
すので、よろしくお願ひします。

ご契約者の皆様へ

もしも事故が起きたら...



常に気を付けていても不意に起こるのが事故。もし、事故が起きてしまったら!!

- 1 タガ人の救護等
- 2 警察へ連絡



その後、下記のいずれかへ事故報告してください。

- ご契約先のJJA
- JA共済事故受付フリーダイヤル (JAの営業時間)



フリーダイヤル安心サービス

【24時間365日受付】 シ ヨ ハ ク ミ ア イ

0120フリーダイヤル

0120-258-931

お車の修理・点検・整備等は

最寄りのJA共済自動車指定工場へ

★事故時のレッカー現場急行はもちろん故障時にも頼れる安心サービス★



フリーダイヤル安心サービス

シヨハクミアイ

【24時間365日受付】 0120-258-931

24時間・365日、上記フリーダイヤルで事故の受付やアドバイスを行うほか、次の各種サービスを実施しております。

夜間休日 現場急行・初期対応サービス



JA営業時間外の夜間および土日・祝日の事故の際、ご要望があれば次のサービスを受けられます。但し、サービスによって対応時間が異なります。

●現場急行サービス (夜間18時10分以降) (24時間)

現場急行のご要望があれば、対応員(※)が現場急行し、事故状況等の確認、今後の事故処理対応等の説明・アドバイスを行います。

※1500員は、JA共済の専任業者である総合警備保衛隊(※)の対応となります。
ご利用者および住所近番(近所番)からの電話で、かつ事故現場からの電話に限り、乗用車として、事故現場から事故現場まで30分以内で到着できる場所での事故が対象となります。

●初期対応サービス (24時間)

事故報告の際にご要望があれば、ご契約者および事故の相手方に連絡を行った上で、必要に応じて修理工場への入庫確認、修理指示、レッカー手配や病院への手続等を行います。

レッカー・ロードサービス



フリーダイヤル以外に直接JJAにご連絡があり、JAが手配した場合でもサービスが受けられます。

●レッカーサービス

事故や外出先での故障などにより、自力走行不能となった場合に、レッカー一車で現場急行し、無料で行引(※)します。

※15kmを超えた場合別途料金。有料道路の通行料金は有料となります。

●ロードサービス

外出先での故障などの場合に現場急行し、緊急修理を行います。

※ JA共済共済の契約内容や車両内容によっては有料となる場合があります。また、有料道路の通行料や仮置料・オイル代等は有料となります。